

氏 名	石 岡 英 彦
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 4199 号
学位授与の日付	平成19年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	A better cure rate with 800mg than with 400mg clarithromycin regimens in one-week triple therapy for <i>Helicobacter pylori</i> infection in cigarette-smoking peptic ulcer patients (喫煙者における消化性潰瘍のH. pylori除菌療法では、クラリスロマイシン1日量400mgより800mgの除菌率が優れている)
論文審査委員	教授 谷本 光音 教授 山田 雅夫 准教授 猶本 良夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

消化性潰瘍患者での、ヘリコバクターピロリ菌(HP)の三剤(ランソプラゾール, アモキシシリン, クラリスロマイシン)併用除菌療法(PPI/AC)について, 601名のHP陽性消化性潰瘍患者で1日量をランソプラゾール 60mg とアモキシシリン 1500mg に固定し, クラリスロマイシンの量を 400mg (C400 群)と 800mg (C800 群)の2群に分け検討した. 305名のC400 群と 296名のC800 群で全体的な除菌率に差はなかったが, クラリスロマイシンに感受性のある菌種での除菌においてC800 群は, C400 群に有意($p=0.038$)に優れていた。喫煙者と非喫煙者の検討では, 喫煙者でC400群の除菌率が80.0%に対し喫煙者でC800群の除菌率が90.5%とC800群が有意($p=0.005$)に優れていた。喫煙者の消化性潰瘍での, PPI/AC において, クラリスロマイシンに感受性のある菌種では, クラリスロマイシン 800mg が推奨される。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は 500 例以上の H.pylori 陽性消化性潰瘍患者を対象として、三剤併用除菌療法のクラリスロマイシン一日投与量 400mg 群と 800mg 群との間で比較試験を行ない、患者背景や臨床指標等の検討を行なっている。この結果、喫煙者においては 800mg 投与群で有意に除菌率が高いこと、非喫煙者やクラリスロマイシン耐性菌保有者ではクラリスロマイシンの増量効果が認められないことなどを見出している。消化性潰瘍患者の治療介入の際に重要な知見を得たものとして価値ある業績と認めます。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。